

グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

- 01 昆虫標本画
- 02 待ち遠しい美幌峠の春

Vol.343

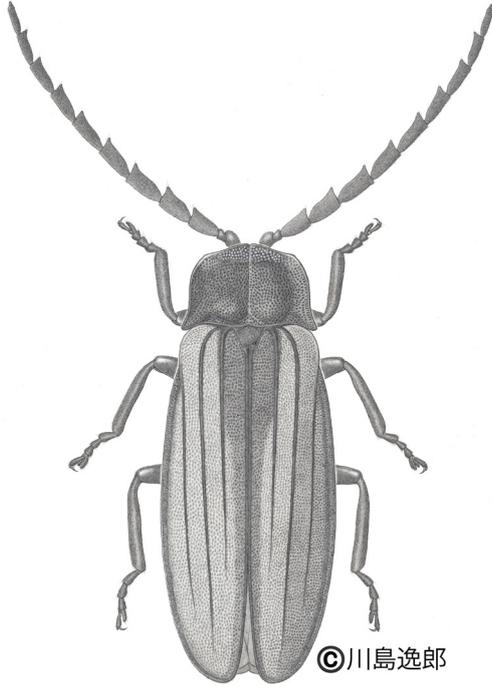
2026/03/01



鬼丸和幸《冬の雲》

Photo 今月の1枚

この冬、道内では猛吹雪に見舞われる日が幾度となくありました。深夜に吹雪に見舞われた翌朝、郊外に出かけてみると…一面に広がる畑の上は、濁りの無い白一色の世界となっていました。快晴となったこの日、純白の雪に覆われた地面と、夕日に照らされた雲の群れとが、見事なコントラストをなして、美しい風景を見せてくれました。(鬼丸和幸)



01 Green Column グリーンコラム

昆虫標本画

写真・文／鬼丸和幸

標本画という言葉が聞かれたことはありますか。標本画とは、生き物などを対象に、外観だけではなく、体の表面構造や内部構造を、“手書き”により描かれた絵のことです。科学的な根拠をもとに描かれた絵のため、学術論文などの研究を支える重要な役割があります。

数年前、昆虫標本画制作の第一人者である川島逸郎さんより、「今度、スジグロボタル成虫の標本画制作を始めるので、野外で採集する機会があれば、参考にしたいので提供していただけないか」との相談がありました。スジグロボタルは、体が美しい紅色をした体長約7mmのホタルの仲間です。成虫は昼行性で、夜に光ることはありません。美幌町内では、6月下旬～7月下旬にかけて、スゲ植物が繁茂する湿地で、その姿を見ることができます。早速、現地で数匹を採集して、川島氏へ

お送りし、参考資料として利用してもらうことになりました。

そして、昨年ついに「スジグロボタル成虫の標本画が完成したよ」と、川島さんより連絡をいただきました。紙面に画像を掲載しましたが、見事なスジグロボタル成虫の標本画で、そのうち広く紹介されることになるでしょう。

生き物の標本画は、その形態を職人技とも言える素手による描写により、細部にわたり正確に記録した貴重な自然科学資料であるのと同時に、どこか神秘的な雰囲気を感じさせる、美術的な魅力に富んだ作品とも言えます。

待ち遠しい 美幌峠の春

写真・文／城坂結実



だんだんと、日差しに暖かさを
感じる季節になりました。美幌町の市街地周辺では、3月に入ると雪解けが始まり、日当たりがよい場所からフクジュソウの仲間が咲き始めます。

一方、市街地より標高が500mも高い美幌峠で雪解けが始まるのは、まだまだ先の話。去年は、市街地の桜が満開の5月8日に、美幌峠で積雪が観測されました。ちょうどその日に美幌峠に出かけた私が見たのは、いち早く咲いたエゾムラサキツツジやヒメイチゲ（写真）が、氷に閉じ込められて凍えている姿でした。

寒暖の差が激しい早春。人間は「また寒くなったなあ」とぶつぶつ言いながら、押し入れにしまった上着を引っ張り出すこともできますが、花を咲かせてしまった植物はそうもいきません。

春に花を咲かせる植物にとっては、そのタイミングが何よりも大切です。

早く花を咲かせると、思いがけない低温で花にダメージを負うことがありますし、一方、遅く花を咲かせると、他の花々に受粉昆虫を奪われてしまいます。

一般的に春の草花は、雪解けからの日数で新芽を出すタイミングが決まり、受粉昆虫は積算温度で冬眠から目覚めるタイミングが決まるそうです。最近は異常気象によって、草花の開花と受粉昆虫のタイミングがずれてしまい、受粉が上手くできないことがあるとか。

異常気象が及ぼす影響は、意外と私たちの身近な場所で、大きな問題を引き起こしているのかもしれない。

Exhibition 展示

企画展「一美幌町の小中学生による一博物館冬季作品展」

3月1日(日)まで

ロビー展「ひな祭りとひな人形」

3月3日(火)まで

特別展「生き物たちの地球」

3月21日(土)～11月23日(月)まで



Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

特別展「生き物たちの地球」ギャラリートーク

3/21(土)、22(日) 10:00～11:00、14:00～15:00

美幌博物館2階 特別展示室・無料

講師/前川貴行(動物写真家)

対象/どなたでも

申込み/美幌博物館に電話で申込み。各回15名で締切。

プチ工房「やってみよう!草木染め」

3/27(金)、28(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館1階 講座室・400円

講師/城坂結実(美幌博物館)

対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み/美幌博物館に電話で申込み。各日50名で締切。



送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越しなどでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどのご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

博物館恒例「～町内の小中学生による～冬季作品展」が閉幕しました。

日々の生活の中で作られた子どもたちの作品は、見ている

私たちに元気をくれます。意外なパワースポットです。

(城坂結実)



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館
【デザイン】城坂結実
【編集】城坂結実・八重柏誠
【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002
北海道網走郡美幌町字美禽 253-4
Tel. 0152 (72) 2160
Fax. 0152 (72) 2162

